平成26年度 財政状況資料集

総括表 (市町村)

110-11		13/							- 10		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	i)	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)
	都道府県名	東京	京都	市町	村類型	特別	区	指定団体等	の指定状況	歳入総額		251, 467, 086		実質収支比率		7. 0	10.0
								財政健全化等	×	歳出総額		239, 607, 142	224, 512, 381	経常収支比率		82. 2	83.3
								財源超過	0	歳入歳出	差引	11, 859, 944	14, 805, 483	(%1)		(82.2)	(83.3)
	市町村名	大田	国区	地方交·	付税種地	0-	-	首都	0	翌年度に	繰越すべき財源	1, 204, 630	196, 540	標準財政規模		152, 039, 902	145, 759, 594
								近畿	×	実質収支		10, 655, 314	14, 608, 943	財政力指数		0. 51	0. 52
		22年国調(人)	693, 373			•		中部	×	単年度収	支	-3, 953, 629	5, 681, 621	公債費負担比率		4. 0	4. 7
	人口	17年国調(人)	665, 674	1	産	業構造 (※5)		過疎	×	積立金		58, 847	60, 795	健全化判断比率			
		增減率 (%)	4. 2					山振	×	繰上償還	金	-	-	実質赤字比率		-	-
		27. 01. 01 (人)	707, 455	Z	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取		2, 256, 327	1, 000, 000	連結実質赤字比率		-	-
		うち日本人(ノ	688, 102	笛	[1次	354	395	指数表選定	0	実質単年	度収支	-6, 151, 109	4, 742, 416	実質公債費比率		-1.2	-0.6
/± E	尼基本台帳人口	26.01.01(人)	701, 416	377	5100	0.1	0.1							将来負担比率		1	-
Œ	で 本 中 版 八 ロ	うち日本人(ノ	682, 871	笛	第2次	60, 578	75, 833			基準財政	収入額	71, 559, 307	68, 138, 922	資金不足比率(※4)			
		增減率 (%)	0.9	377	720	20. 5	22. 1			基準財政	需要額	140, 562, 298	134, 506, 717				
		うち日本人(9	6) 0.8	筆	第3次	234, 360	253, 727			標準税収	入額等	152, 039, 902	145, 759, 594				
	面積(k㎡)		60.66	X1	3000	79. 4	74. 0			経常経費	充当一般財源等	129, 994, 715	125, 460, 365				
	I密度(人/k㎡)		11, 430							歳入一般	財源等	174, 890, 459	163, 515, 939				
t	·带数(世帯)		345, 608														
				職員	の状況												
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均								
			給料月額(百円)	般			(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現		35, 706, 019	40, 337, 350				
	市区町村長	1	11, 550	職	一般職員		4, 072	13, 168, 848	3, 234			31, 296, 932	34, 034, 582				
特 別	副市区町村長	2	9, 270	員 等		肖防職員	-	-			行為額 (支出予定額)	20, 137, 478	24, 872, 592				
職	教育長	1	7, 800	_		支能労務職員	592	1, 814, 480	3, 065	_		30, 000	15, 000				
等	議会議長	1	9, 290	* 6	教育公别		8	34, 052	4, 257	土地開発	基金現在高	-	-				
	議会副議長	1	7, 840	~	臨時職員		-	-		- 積立金	財政調整基金	53, 208, 202	48, 101, 210				
	議会議員	48	6, 130		合計		4, 080	13, 202, 900	3, 236	現在高	減債基金	12, 196, 649	13, 768, 839				
				7	ラスパイし	ノス指数			98. 9		その他特定目的基金	40, 184, 825	35, 276, 759				
一般: 項番	会計等の一覧	会計名	事業 項番	会計の一	-覧	会計名		公営企業 (法適)項番	の一覧 会計名		公営企業(法非適)の一 項番 会	覧 ≼計名	関係する一部事務 項番	且合等一覧 組合等名	地方公社・第 項番	三セクター等一覧 団体名	(※3)
(1)	一般会計		(2)	国民健康	康保険事業 特	寺別会計							(5) 特別区人事・厚	生事務組合	(11) 大田区文	化振興協会	
			(3)	介護保険	食特別会計								(6) 特別区競馬組合		(12) 大田区産	業振興協会	
			(4)	後期高齢	命者医療特別	削会計							(7) 臨海部広域斎場	組合	(13) 大田区体	育協会	
													(8) 東京二十三区清	掃一部事務組合	(14) 大田区土	地開発公社	0
													(9) 東京都後期高齢	者医療広域連合 (一般会計)	(15) 大田まち	づくり公社	
													(10) 東京都後期高齢 (後期高齢者医	者医療広域連合			
													(10) (後期高齢者医	療特別会計)			

^{・ (}注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債 (特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2:各会計の一覧は主な会計 (10会計まで)を記載している。
※3:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。
※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6:個人情報保護の親点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。

東京都大田区

(1) 普通会計の状況(市町村)

)状況(単位 千円				地方税の			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
也方税	70, 592, 144	28. 1	70, 592, 144		普通税	70, 577, 775	100.0	
也方譲与税	1, 752, 354	0.7	1, 752, 354	1.1	法定普通税	70, 577, 775	100.0	
子割交付金	1, 110, 696	0.4	1, 110, 696	0.7	市町村民税	64, 829, 449	91.8	
巴当割交付金	1, 399, 306	0.6	1, 399, 306	0.9	個人均等割	1, 331, 679	1.9	
式等譲渡所得割交付金	1, 175, 623	0.5	1, 175, 623	0.7	所得割	63, 497, 770	90.0	
!方消費税交付金	9, 907, 006	3.9	9, 907, 006	6.3	法人均等割	-	-	
ルフ場利用税交付金	-	-	_	_	法人税割	-	-	
別地方消費税交付金	-	-	-	_	固定資産税	-	-	
動車取得税交付金	316, 563	0.1	316, 563	0. 2	うち純固定資産税	_	_	
油引取税交付金	-	-	-	_	軽自動車税	231, 467	0.3	
方特例交付金	372, 406	0.1	372, 406	0. 2	市町村たばこ税	5, 516, 859	7. 8	
方交付税		-	-	-	鉱産税			
普通交付税	_	_	_	_	特別土地保有税	_	_	
特別交付税	_	_	_	_	法定外普通税	_	_	
震災復興特別交付税	_	_	_	_	目的税	14, 369	0.0	
-般財源計)	86, 626, 098	34. 4	86, 626, 098	54. 8	法定目的税	14, 369	0.0	
通安全対策特別交付金	69, 129	0.0	69, 129	0.0	入湯税	14, 369	0.0	
担金・負担金	2, 527, 298	1.0	03, 123	0.0	事業所税	14, 303	0.0	
用料	6, 964, 658	2.8	2, 376, 243	1.5	都市計画税	_	_	
数料	1, 114, 072	0.4	2, 370, 243	1. 5	水利地益税等	_	_	
庫支出金	45, 574, 008	18.1			大村地並祝寺 法定外目的税			
早又山亚 有提供交付金(特別区財調交付金)	71, 327, 210	28. 4	69, 002, 991	43. 6	旧法による税	_	_	
			09, 002, 991	43.0		70 500 144	100.0	
道府県支出金	15, 053, 028	6.0	100 000	0.1	合計	70, 592, 144	100.0	
産収入	450, 653	0. 2	106, 969	0. 1	= 0	T-1005-1		T-1055-
附金	84, 537	0.0	-	_	区分	平成26年度		平成25年度
入金	7, 831, 732	3. 1	_	_	徴収率 現 計 大阪社界報	98. 6	95. 7	98.1
越金	7, 501, 011	3.0			(04) 左・計 中町付氏税	98. 5	95. 4	97.9
収入	4, 543, 652	1.8	24, 766	0.0	(%) さ 純固定資産税	-	-	-
方债	1, 800, 000	0. 7	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	公営事業等への繰出		東保険事業会	
うち臨時財政対策債	-	-	-	-	合計 22,899,927			1, 571,
入合計	251, 467, 086	100.0	158, 206, 196	100.0		再差引収支		1, 080,
					上水道	- 加入世帯数(世帯)	115,
					工業用水道	- 被保険者数(人)		175,
					交通		検税(料)収入額	頁
					国民健康保険 9,044,460		支出金	
					その他 13,669,887	┃ 'ヘヨり ┃ 保険	給付費	

()土が()	
नीर	•

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

	# III o	VIII / 12	(# 7 • • •			
	成出0. 目的別歳		<u>単位 千円・%)</u> (単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	□構成比	(単位 十円・%)	- 凯市 - 李 - 惠	(A)のうち弁	当一般財源等
議会費	1,027,762	1400.4	(A)のプラ自選組	E 故 尹 未 其	(A) (J) (A)	1.027.739
総務費	28, 398, 552	11. 9		I. 103. 440		25, 248, 965
民生費	129, 271, 089	54. 0		3. 988. 314		74, 382, 515
(大王頁 衛生費	16, 701, 014	7. 0	١	64, 487		14, 802, 641
労働費	10, 701, 014	0.1		04, 407		63, 289
農林水産業費	22, 699	0. 1				19, 374
商工費	3, 453, 587	1.4		220, 902		2, 538, 232
同二良 土木費	27, 667, 519	11.5	1/	1. 779. 127		14, 853, 107
消防費	1, 633, 680	0.7	17	607, 057		1, 184, 559
教育費	24, 152, 313	10. 1		5, 811, 693		21, 835, 558
災害復旧費	24, 132, 313	10.1	١	, 011, 033		21, 000, 000
公債費	7, 153, 143	3. 0		_		7, 074, 536
諸支出費	7, 100, 140	0.0		_		7, 074, 000
前年度繰上充用金	_	_		_		_
歳出合計	239, 607, 142	100.0	26	6, 575, 020		163, 030, 515
жшып	203, 007, 142	100.0	20	5, 575, 525		100, 000, 010
	性質別歳	出の状況	 (単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経堂経費布	当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	127, 402, 913	53. 2	76, 610, 423	42117423070	75, 619, 880	47.8
人件費	42, 606, 118	17. 8	39, 792, 228		38, 818, 933	24. 5
うち職員給	28, 606, 935	11.9	26, 364, 354		_	
扶助費	77, 644, 332	32. 4	29, 744, 339		29, 727, 091	18. 8
公債費	7, 152, 463	3. 0	7, 073, 856		7, 073, 856	4. 5
元利償還金	7, 152, 463	3. 0	7, 073, 856		7, 073, 856	4. 5
内 うち元金	6, 431, 331	2. 7	6, 352, 724		6, 352, 724	4. 0
訳しうち利子	721, 132	0.3	721, 132		721, 132	0. 5
一時借入金利子	· -	-	_		· -	-
その他の経費	85, 629, 209	35. 7	73, 455, 105		54, 374, 835	34. 4
物件費	34, 873, 457	14.6	27, 760, 717		27, 452, 734	17. 4
維持補修費	3, 057, 766	1.3	2, 589, 431		2, 589, 431	1.6
補助費等	14, 181, 641	5. 9	12, 508, 901		10, 059, 605	6. 4
うち一部事務組合負担金	3, 255, 470	1.4	3, 255, 470		2, 241, 791	1.4
繰出金	22, 899, 927	9.6	20, 613, 344		14, 101, 092	8. 9
積立金	8, 725, 591	3.6	8, 604, 691		_	-
投資・出資金・貸付金	1, 890, 827	0.8	1, 378, 021		171, 973	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-			
投資的経費計	26, 575, 020	11.1	12, 964, 987			
うち人件費	1, 028, 034	0.4	986, 321			
普通建設事業費	26, 575, 020	11.1	12, 964, 987			
内うち補助	6, 845, 799	2. 9	1, 897, 567			
・・ っち田神	18, 871, 038	7. 9	10, 878, 737			
訳し、ジョン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャ	-	-	-			
失業対策事業費	-	-	-			
歳出合計	239, 607, 142	100.0	163, 030, 515			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの	地方債	備考
					繰入金	現在高	
1 一般会計	252,589	240,729	11,860	10,655	8,550	40,735	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
В							
9							
0							
11							
12							
13							
14							
5							
16							
一般会計等(純計)	252,589	240,729	11,860	10,655		40,735	

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考	
1 国民健康保険事業特別会計	74,181	72,609	1,572	1,572	8,996		-	-		
2 介護保険特別会計	46,716	46,223	492	492	7,170	-	-	-		
3 後期高齢者医療特別会計	14,134	14,015	118	118	6,639	-	-	-		
4										
5										
6										
7										
В										
9										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
0										
n										
12										
13										
4										
5										
6										
77										
8										
9										
10										
п										
12										
13										
4										L
15										連
+ 公営企業会計等				2,182		-	-			

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 特別区人事・厚生事務組合	8,287	7,523	764	764	98	4,106	177	
2 特別区競馬組合	106,200	104,189	2,012	22,180	0	0	0	法適用
3 臨海部広域斎場組合	1,189	1,123	66	66	179	1,470	776	
4 東京二十三区清掃一部事務組合	91,508	88,910	2,598	2,598	10,390	35,915	1,760	
5 東京都後期高齢者医療広域連合(一般会計)	4,758	4,702	56	56	900	0	0	
6 東京都後期高齢者医療広域連合【後期高齢者医療特別会計)	1,217,894	1,171,425	46,469	46,469	12,479	0	0	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16	·							
17								
18	·							
19								
20								
計 一部事務組合等		_		72,133		41,491	2,713	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産

平成26年度

平成24年度 平成25年度 平成26年度 分母比

353,233

20,065

6,337,211

317,909

2,374,407 2,374,407

7,686,579

388,556

34,204

東京都大田区

2 3 4 0	大田区文化振興協会 大田区産業振興協会 大田区体育協会 大田区土地開発公社	10 A 0	469 738 220	530 100	191 506 39	-	-	-	-	
3 0	大田区体育協会	1								
1 0									-	
-		0	60	10	6	4,648	1,612	_	_	
1 1	大田まちづくり公社	5	85	9	_	-	-	-	-	
ô										
7										
3										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
8										
9										
10										
1										
2										
:3										
24										
25										
:6										
:8										
:9										
10										
1										
12										
4										
5										
6										
17										
18										
19										
10										
12										
13										
14										
15										
16										
7										
8										
19										
1										
i2										
i3										
4										
15										
6										
i7										
19										
10										
11										
12										
13										
4										
6										
17										
8										
9										
0										
1										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
'9										
10										
12										
	方公社・第三セクター等			869	742	4,648	1,612	-	_	
_	也方公共団体が①25%以上出資している		1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1							

公債	費負担の状況					将来負担の	状況								
	実質公債費比率 (=	一円・%)										#	寽来負担比 革	☑ (千円	•%)
	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		区	分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		内訳
元利	償還金	6,798,186	6,730,067	5,669,872	4.1	将来負担額	一般会計等に係	系る地方債の現在高	5	47,757,894	45,219,868	40,732,976	29.2	PFI ²	事業に係るもの
減債	基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に	に基づく支出予定額	i	10,449,542	9,170,874	6,655,120	4.8	いれ	oゆる五省協定等に係るもの
準	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	397,727	325,160	293,293	0.2		公営企業債等網	操入見込額			-	-	-		営土地改良事業に係るもの
元	公営企業債の元利償還金口対する繰入金	-	-	-	-		組合等負担等身	見込額		3,393,108	3,097,987	2,712,515	1.9	債 森材	‡総合研究所等が行う事業に係るもの
利僧	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	879,872	744,595	662,483	0.5		退職手当負担身	見込額		44,156,308	41,294,102	38,729,483			5公務員等共済組合に係るもの
還	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	2,292,469	3,278,024	4,253,977	3.1		設立法人等の負	負債額等負担見込額	頂	34,204	20,065	14,349	0.0	担依刺	頁土地の買い戻しに係るもの
金	一時借入金の利子	-	-	-	-		連結実質赤字額	Ą		-	-	-	-	為 社会	・福祉法人の施設建設費に係るもの
	合計 (A)	10,368,254	11,077,846	10,879,625			組合等連結実質	5赤字額負担見込	頂	-	-	-	-	損失	∈補償・債務保証の履行に係るもの
	内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		合計		(E)	105,791,056	98,802,896	88,844,443		引き	受けた債務の履行に係るもの
	PFI事業に係るもの	-	-	2,374,407	1.7	充当可能	充当可能基金			96,976,509	103,031,414	111,438,631	79.9	その)他上記に準ずるもの
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定前			-	-	-	-		
佶	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額	質算入見込額		169,950,993	159,018,289	150,476,964	107.9		
務	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計		(F)	266,927,502	262,049,703	261,915,595		企業債等 線入見込	
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	37,851	37,640	37,430	0.0	将来負担比	;率((E)-(F))/((C)-(D)) × 100			-	-		林八元之	194
行	損失補償・債務保証の履行に係るもの	22,580	13,950	12,985	0.0									Ť	
為	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-										地方道路公社に係る将来負担額
	その他上記に準ずるもの	1,345,178	2,359,750	973,805	0.7	仮	全化判断比率	平成26年度	早期健全	化基準 財	政再生基準	Ī		公社・	土地開発公社に係る将来負担額
	利子補給に係るもの	886,860	866,684	855,350	0.6	実質	复赤字比率	-		11.25	20.00			ニピクラ	その他第三セクター等に係る将来負担
特定	 財源の額 (B)	145,996	59,388	78,607		連綿	吉実質赤字比率	-		16.25	30.00				
標準	財政規模(C	146,898,933	145,759,594	152,039,902		実質	复公债费比率	▲ 1.2		25.0	35.0				
算入	.公債費等の額 (D	12,019,627	12,439,270	12,624,099		将3	k 負担比率	-		350.0					
Ì	(C)-(D	134,879,306	133,320,324	139,415,803								_			
宝質	公債費比率(単年度)	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.3											
	-((B)+(D)))/((C)-(D))×100 (3ヵ年平均)	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 1.2											

(3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

人(H27.1.1現在)

人(H27, 1, 1現在)

🔷 当 該 団 体 値 類似団体内平均値 類似団体内の ▲ 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成27年度中に市町村会併した団体で、会併前の団体ごとの決策に基づく実質の債費比率及び将来負担比率を管用していない団体については、グラフを表記しない。

実 質 公 債 費 比 率

負 担 比 率

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

千円

千円

千四

千円

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力 財政力指数 [0.51] 1.20 1.00 0.60 0.56 0.31 0.20 H22 H23 H24 H25 H26

707, 455

688, 102

251, 467, 086

239, 607, 142

10 655 314

152, 039, 902

35, 706, 019

60.66

うち日本人

入総

曲 出 級 類

100.00

200.00

300.000

400.000

127.640

H22

H23

類似团体内層位 東京都平均 0.49 11/23 0.73

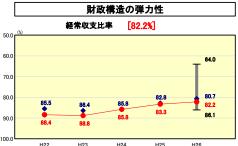
ここ数年、類似団体平均と近い指数で推移しており、類似団体内の順位 は前年度と同じ11位となっている。

96

H26 特別区

特別区 H23 特別区 H24 特別区

-1.2 96



類似団体内順位 全国平均 東京都平均

経常収支比率の分析機

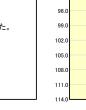
平成26年度の経常収支比率は、分子である経常経費充当一般財源等 が、物件費などの増により増加したものの、分母である歳入経常一般財源 等が特別区税及び財政調整交付金が増加したことなどにより、前年度に 比べ1.1ポイント改善し、類似団体内の順位は13位となっている。



364,291

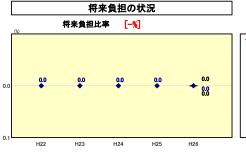
H26

H25



平成26年度

東京都大田区



着似团体内槽位 夏京都平均

得来負担比率の分析機

過去の起債抑制、地方債の順調な償還等により起債残高が減少したこ とにより、 前年度に引き続き将来負担比率は発生していない。 引き続き、実質的な区の将来負担を把握し、安定した財政基盤の構築に 努めていく。



Δ 1.8

50

H26



平成26年度の実質公債費比率は、元利償還金の減などにより△1.2%と なり、前年度に比べ、0.6ポイント改善した。類似団体内の順位は13位と なっている。

今後も財政基盤の健全性が維持されるよう、長期的視点に立った財政運 営を行っていく。



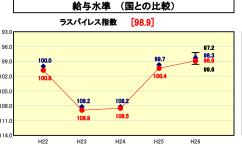
H24

H23

類似団体内順位 東京都平均

人口千人当たり職員数の分析権

平成26年度は、前年度に比べ0.16人減少している。適正な職員定数の 配置により、ここ数年減少傾向を続けている。類似団体に比べてもやや少 ない数値を保っている。



類似団体内順位 全国市平均 全国町村平均 19/23

ラスパイレス指数の分析機

平成26年度のラスパイレス指数は98.9であり、前年に比べ1.5ポイント低 下し、全国市平均と同様の動きとなっている。

平成23年度及び24年度は、国家公務員の時限的な給与改定特例法によ る措置があったため指数が大きくなっている。国家公務員の時限的な給与 改定特例法による措置がないとした場合の24年度の指数は100.2である。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

19.5

25.8

H26

19.5

H25

東京都大田区

経常収支比率の分析



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



東京都平均

24.2

全国平均 14.3 東京都平均 17.7

東京都平均

800

類似团体内順位

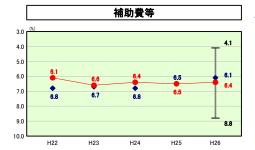
委託料の増などより前年度に対し0.5ポイントの増となったが、 類似団体に比べ低い数値となっている。



7/23 人件費の分析権

「大田区職員定数基本計画(平成26~28年度)」に基づき、適正 な職員定数の配置を行った。平成26年度は給与改定等により人 件費決算額は増加したものの、経常的一般財源が増加したため、 人件費に係る経常収支比率は0.7ポイントの減となった。

全国平均



H24

H22

H23

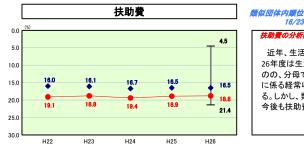
物件費

16/23

類似団体内順位 全国平均 11.2

補助費等の分析権

私立幼稚園保護者負担軽減補助の増などにより決算額は増加 したものの、経常的一般財源が増加したため、前年度に比べ0.1 ポイント減少した。



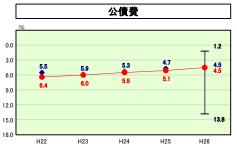
近年、生活保護費と児童福祉費が増加傾向を示している。平成 26年度は生活保護費や障害者自立支援対策などが増加したも のの、分母である歳入経常一般財源等が増加したため、扶助費 に係る経常収支比率は、前年度に対し0.1ポイントの減となってい る。しかし、類似団体平均を2.3ポイント上回っている状況であり、 今後も扶助費の伸びが想定される。

全国平均



繰出金などが増加したものの、分母である歳入経常一般財源 等が増加したため、その他経費に係る経常収支比率は前年度に 対し0.1ポイントの減となっている。

全国平均



類似団体内順位 13/23

全国平均 18.2

近年の起債抑制によって残高が順調に減少している。平成26

年度は、償還額が減少したことなどにより、0.6ポイントの減となっ

東京都平均 107

東京都平均

公債費以外



15/23 公債費以外の分析機

類似団体内順位

公債費を除いた比率は、前年度に対し0.5ポイントの減となった。 最も減少幅が大きいのは人件費であり、0.7ポイントの減となって いる。

全国平均

7.3 1

41, 687, 811

▲ 5, 694

58, 926

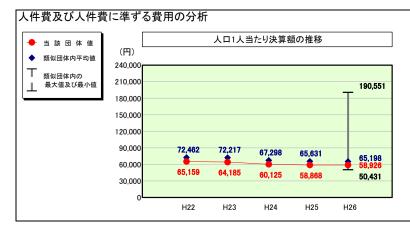
▲ 1.3

▲ 9.6

▲ 5, 771

65, 198

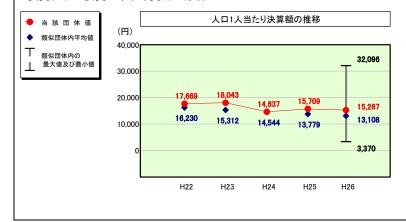
(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 (千円) 当該団体 (円) 類似団体平均 (円) 対比(%) 65, 343 人件費 42, 606, 118 60, 224 **▲** 7.8 賃金 (物件費) 114 751 162 987 **▲** 83. 6 550, 612 778 884 **▲** 12.0 1, 416, 82 2, 003 1, 453 **▲** 15.6 1, 028, 034 **4**, 028, 532

<u>- 一 </u>			
	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	5. 77	6. 34	▲ 0.57
ラスパイレス指数	98. 9	98. 3	0. 6

公債費及び公債費に準ずる費用の分析



	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	5, 669, 872	8, 014	8, 937	▲ 10.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	_	4	_
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	293, 293	415	362	14. 6
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	-	=	37	=
- 部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	662, 483	936	606	54. 5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	4, 253, 977	6, 013	3, 177	89. 3
-時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	-	
▲特定財源の額	▲ 78, 607	▲ 111	▲ 15	640. 0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	-	=	-	=
合計 ※프로27年度中に主転せる# L + 모셔츠 - 소생활으므셔 ~ L o.2. 역 i	10, 801, 018		13, 108	16.5

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析 人口1人当たり決算額の推移 (円) 50,000 40,000 30.000 20,000 10,000 H22 H23 H24 H25 H26 ── 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値

普通建設事業費							
		当該団体決算額		\	.ロ1人当たり決算	額	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H22		20, 070, 495	29, 690	▲ 5.3	41, 485	▲ 25.4	20. 1
	うち単独分	15, 950, 676	23, 595	12. 3	28, 975	▲ 23.2	35. 5
H23		26, 091, 412	38, 518	29. 7	39, 651	▲ 4.4	34. 1
	うち単独分	21, 726, 124	32, 074	35. 9	28, 525	▲ 1.6	37. 5
H24		20, 851, 827	29, 858	▲ 22. 5	37, 665	▲ 5.0	▲ 17.5
	うち単独分	10, 825, 963	15, 502	▲ 51. 7	25, 730	▲ 9.8	▲ 41.9
H25		23, 214, 598	33, 097	10.8	36, 861	▲ 2.1	12. 9
	うち単独分	14, 309, 849	20, 401	31.6	23, 990	▲ 6.8	38. 4
H26		26, 575, 020	37, 564	13. 5	47, 064	27. 7	▲ 14. 2
	うち単独分	18, 871, 038	26, 675	30.8	32, 508	35. 5	▲ 4.7
過去5年間平均		23, 360, 670	33, 745	5. 2	40, 545	▲ 1.8	7. 0
	うち単独分	16, 336, 730	23, 649	11.8	27, 946	▲ 1.2	13. 0

▲退職金

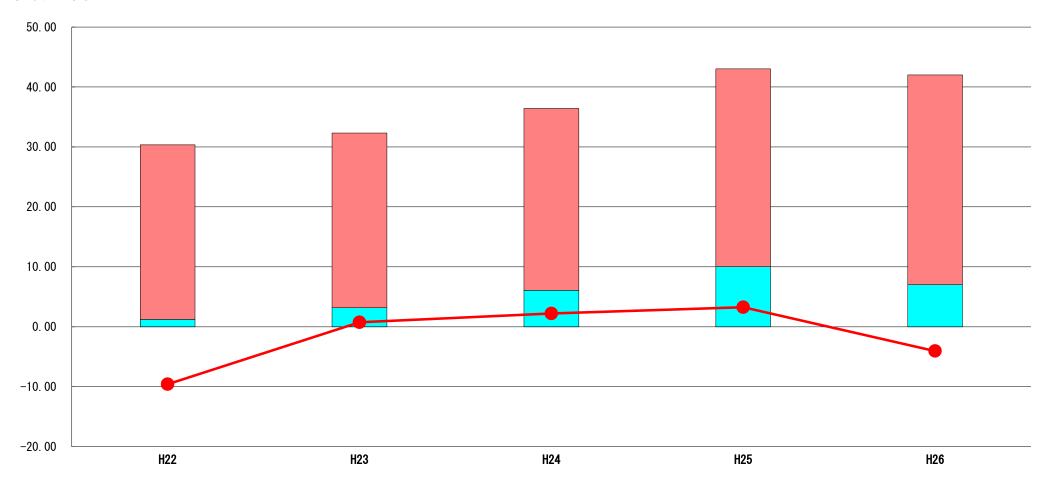
合計

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成26年度

東京都大田区

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

_				JA 1 771 -97790	,,,,
区分	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高	29. 14	29. 13	30. 35	33. 00	35. 00
実質収支額	1. 21	3. 19	6. 08	10. 02	7. 01
実質単年度収支	▲ 9.58	0. 74	2. 22	3. 25	▲ 4.05

分析欄

実質収支額の標準財政規模比は3.01ポイントの減となっており、引き 続き適正な範囲となるよう、執行管理に努めていく。

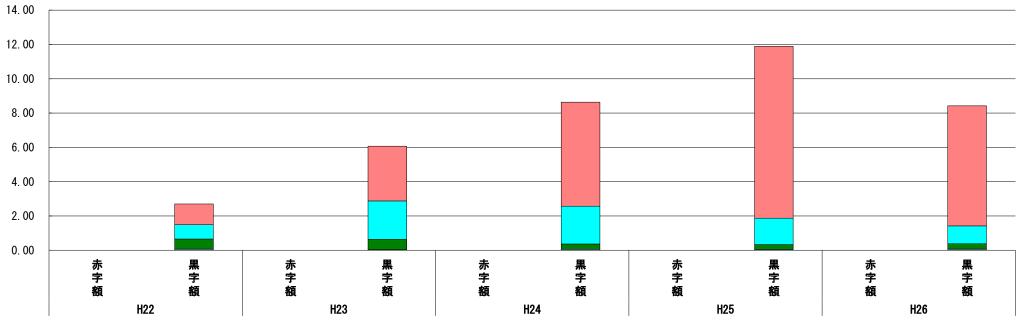
財政調整基金残高の標準財政規模比は2.0ポイントの増となっているが、安定的な財政運営を行っていくため、引き続き財政調整基金残高の 推移に十分留意していく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成26年度

東京都大田区

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

年度 会計	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計	1. 20	3. 19	6. 07	10. 02	7. 00
国民健康保険事業特別会計	0. 84	2. 24	2. 20	1. 54	1. 03
介護保険特別会計	0. 59	0. 61	0. 31	0. 28	0. 32
後期高齢者医療特別会計	0. 07	0. 03	0.06	0. 05	0. 07
その他会計(赤字)	_	-	-	_	-
その他会計(黒字)	0. 00	-	-	-	_

分析欄

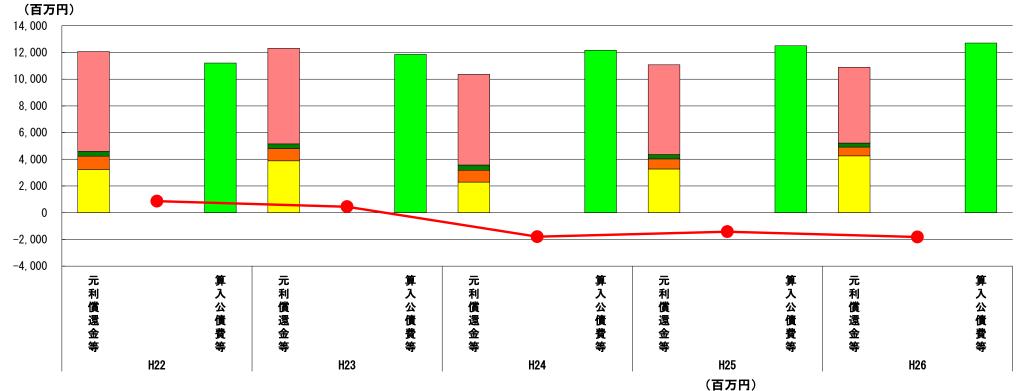
適正な執行管理等により、前年度に比べ一般会計の実質収支額が減少した。連結実質赤字比率に係る黒字額の標準財政規模比は、前年度に対し3.47ポイント減少し、8.42%となっている。全会計において黒字であり、連結実質赤字比率は生じていない。

[※]平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成26年度

東京都大田区



_							· — · - · · ·
分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等(A)		元利償還金	7, 471	7, 145	6, 798	6, 730	5, 670
		減債基金積立不足算定額	-	-	1	-	-
		満期一括償還地方債に係る年度割相当額	368	348	398	325	293
		公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	-	1	-	-
		組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	991	923	880	745	662
		債務負担行為に基づく支出額	3, 237	3, 887	2, 292	3, 278	4, 254
		一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等(B)		算入公債費等	11, 205	11, 855	12, 166	12, 498	12, 703
(A) - (B)	•	実質公債費比率の分子	862	448	▲ 1, 798	▲ 1, 420	▲ 1,824

分析欄

債務負担行為に基づく支出額は増加したものの、 元利償還金は減少傾向が続いており、元利償還金 等の額は前年度に比べ減となった。

今後、老朽化した公共建築物をはじめ、道路・橋 りょう等の都市基盤施設の維持・更新に係る経費の 増加が見込まれ、地方債による資金調達が高水準と なることが想定されるが、財政基盤の健全性が維持 されるよう、長期的視点に立った財政運営を行う。

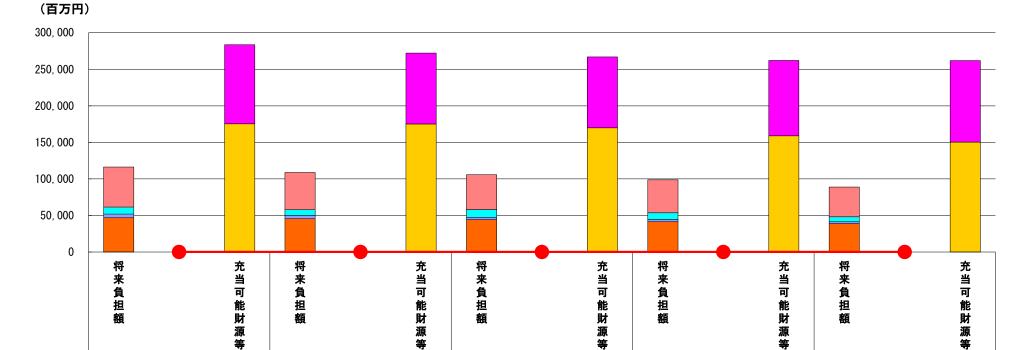
[※]平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

H22

平成26年度

東京都大田区



H24

							(m / 2 1 1 /
分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額(A)		一般会計等に係る地方債の現在高	54, 660	50, 812	47, 758	45, 220	40, 733
		債務負担行為に基づく支出予定額	9, 617	8, 242	10, 450	9, 171	6, 655
		公営企業債等繰入見込額	-	-	1	-	_
		組合等負担等見込額	5, 095	4, 152	3, 393	3, 098	2, 713
		退職手当負担見込額	46, 858	45, 674	44, 156	41, 294	38, 729
		設立法人等の負債額等負担見込額	20	23	34	20	14
		連結実質赤字額	-	-	1	-	_
		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	1	-	_
充当可能財源等(B)		充当可能基金	108, 158	97, 026	96, 977	103, 031	111, 439
		充当可能特定歳入	-	-	1	-	_
		基準財政需要額算入見込額	175, 422	175, 151	169, 951	159, 018	150, 477
(A) — (B)	-	将来負担比率の分子	▲ 167, 330	▲ 163, 275	▲ 161, 136	▲ 163, 247	▲ 173, 071

H23

分析欄

H25

(百万円)

近年の起債抑制、地方債の順調な償還等により起債 残高は減少傾向を保持している。また、適正な職員定数 の配置等により、退職手当負担見込額も減少を続けてい る。前年度に引き続き将来負担比率は発生していない。 算定上控除される基準財政需要額算入見込額につい ては、実質的な区負担となることを踏まえ、引き続き、区 の将来負担を把握し、安定した財政基盤の構築に努め ていく。

H26

[※]平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。